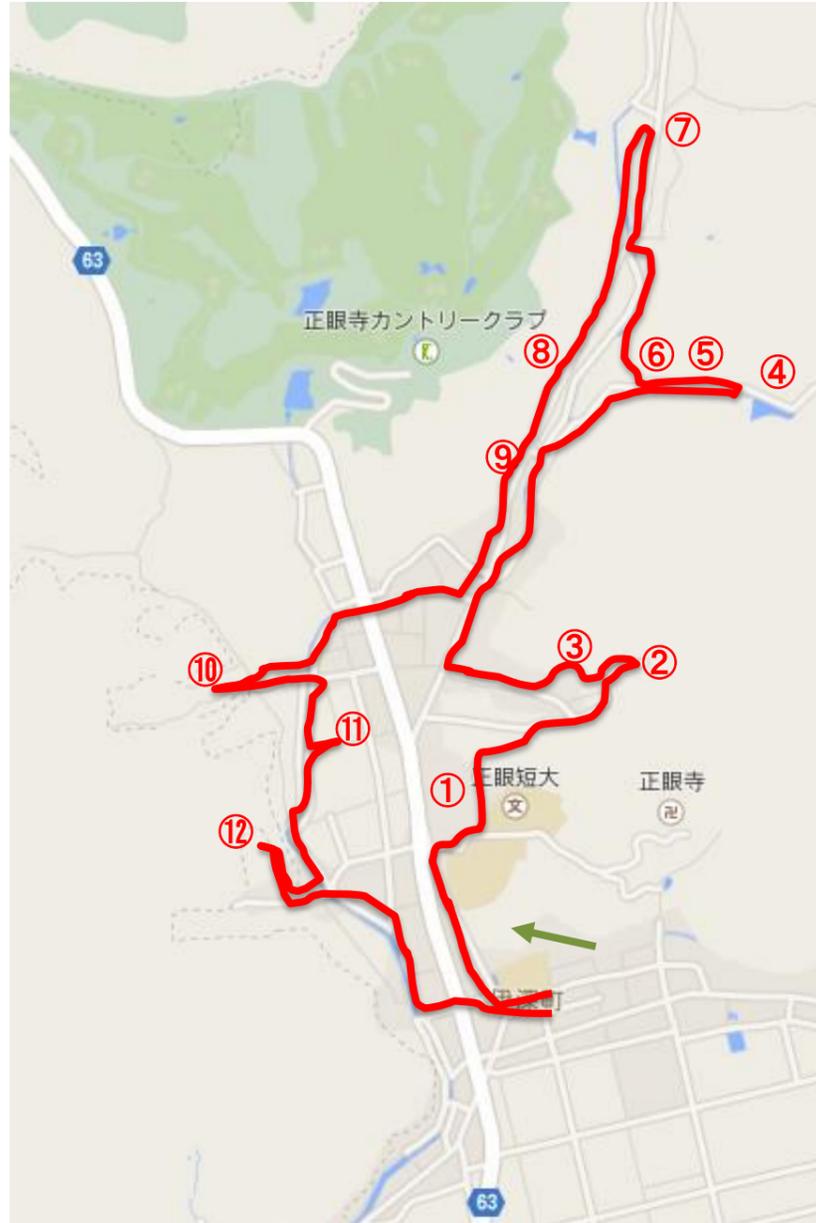


# 伊深の里の標柱めぐりウォーキング

## 【北周りコース】

約7km



### ① 諏訪神社

上切のうち別所・寺洞・南岡地区を氏子とする神社。

◆ 標柱は神社西の入り口、正眼短大横にある。



### ② 龍安寺

臨済宗妙心寺派の禅寺。山号は碧雲山。17世紀の後半、かつてここにあった永安寺の跡地に再建されたとされている。鐘楼は山門（鐘楼門）となっており市の重要文化財に、また梵鐘は岐阜県の重要文化財に指定されている。

◆ 標柱はト雲寺と連名で寺洞入口ト雲寺標付近にある。



### ③ ト雲寺

臨済宗妙心寺派の禅寺。山号は神龍山。平成24年に開創四百年記念事業として本堂および書院が改築され、11月に落慶法要が執り行われた。



### ④ 追洞（おっぼら）の池

明治・大正・昭和の時代にわたって長らく伊深村の村長および県議会議員を務めた井上太十郎氏が自らの土地を提供して作られた灌漑用の池。現在も農業用水としての機能を果たしている。



### ⑤ 星宮神社

大洞および上切のうち中切・西切地区を氏子とする神社。



### ⑥ 中切弘法堂

明治初期の神仏分離まで星宮神社の西にあった長溪山宝生寺の観音堂とされ、裏には開祖良海法印を祀る宝篋印塔、石仏大日如来坐像、墓などが今も残っている。宝生寺は関市新長谷寺の末寺で真言宗。毎年3月12日が良海忌で春秋の彼岸および冬至に近所の有志がお参りしている。



### ⑦ 大洞の岩観音

下大洞の岩の穴に観音様が祀られている。この穴は牛牧の岩窟に通じているといわれている。



### ⑧ 星宮神社のじよりぬぎ場

神社には、必ず昔は西100メートル程の所に「じよりぬぎ場」と言われるものがあった。ここは星宮神社のじよりぬぎ場とされているところ。



### ⑨ 井上太十郎頌徳碑

18年間の旧伊深村長在任中に、追洞・新谷の灌漑施設の整備、道路の整備、役場の建設、小学校の増設など数々の事業を献身的に行った井上太十郎氏の功績を称えるため、昭和24年、村民有志の手により建立された。



### ⑩ 村井長門守の墓

前京二條諸司代太閤秀吉家臣村井長門守 源貞勝 天正四年子六月二日 村井伊左衛門元祖



### ⑪ 諏訪神社のじよりぬぎ場

神社には、必ず昔は西100メートル程の所に「じよりぬぎ場」と言われるものがあった。諏訪神社の場合は、井戸があって、神様が乗ってきた馬がそこにはまってけがをしたので、その後はこの神社の氏子の部落には、よい井戸がないという伝えがあった。



### ⑫ 六部の墓

別所の小洞（墓地）内に祀ってある。六部とは六十六部の略で、全国の霊場六十六か所へ法華経を一巻ずつ納めて回る行脚僧のこと。この地で亡くなった僧を丁寧に祀った。

